

留学生、県内就職へ熱心

関市の中日本航空 専門学校で説明会

県内企業への就職を目指す留学生を対象にした就職ガイダンスが14日、関市迫間の中日本航空専門学校で行われた。同校に通うスリランカやネパールなどからの留学生が、日本語習得の大切さや県内企業の仕事内容を学んだ。

県の外国人活用企業サポート事業の一環として開催。同校エアポートサービス科キャビンアテンダント・グランドスタッフコースなどで学ぶ1、2年の留学生約45人が参加した。

外国人を支援する登録支援機関の「カノマチ」（岐



就労ビザなどの説明を受ける留学生ら
＝関市迫間、中日本航空専門学校

阜市）の高崎真穂社長が、就職時に日本語を習得する重要性、留学生が取得できる就労ビザ、ビザに関する注意点などを伝え、参加者が熱心に聞き入った。

岐阜グランドホテル（岐阜市）、奥飛観光開発（高山市）の担当者が仕事内容を説明した。（高橋友基）